

保健・福祉功勞

澤村憲治さん
(80歳・城内小路)



澤村憲治さんは、昭和42年から平成13年まで34年間、民生児童委員を務められ、また現在も町社会福祉協議会長として住民の福祉の向上に尽力されています。町議会議員、消防団長など数々の要職を歴任され、町の保健福祉の向上並びに自治振興に貢献されました。

教育功勞

榎山節子さん
(75歳・下町)



榎山節子さんは、昭和45年から現在まで41年間にわたり、葛巻幼稚園長として質の高い文化的な授業を取り入れるなど特色ある指導で幼児期の情操教育の充実に努められています。また、町社会教育委員として、幼児教育のほか町の教育振興に貢献されています。

保健・福祉功勞

上打田内貞子さん
(71歳・四日市)



上打田内貞子さんは、昭和40年町保健委員に就任以来34年間、各種検診の受診率向上や健康相談の周知連絡など積極的に取り組まれました。また、昭和59年から現在まで食生活改善推進員として食を通じた健康づくりを進め、住民の保健福祉の向上に貢献されています。

産業功勞

中村正治さん
(70歳・浦子内)



中村正治さんは、昭和53年から平成9年まで19年間、葛巻町農業協同組合理事を務められ、特に平成元年から6年間は組合長として農業振興に尽力されました。また、町議会議員、町森林組合理事などの要職を歴任され、農林業の振興並びに自治振興に貢献されました。

葛巻町民憲章

昭和50年5月15日制定

葛巻町は、雄大な北上山系の山ふところにつつまれた自然のきびしい町です。

わたくしたちは、先人のたくましい意志を受け継ぎ、町民の限りない幸せを願い、住みよい町づくりをめざしてこの憲章を定めます。

第1章 幸せな輝かしい未来のために、たくましい体力と気力、知性と創造性に満ちた人を育てる教育の町づくりにつとめます。

第2章 明るく楽しい生活のために、きまりを守り温かい心をもって互いに助けあう、福祉の町づくりにつとめます。

第3章 豊かな美しい郷土のために、自然を愛し、資源の活用に力を合わせて生き生きと働く、産業の町づくりにつとめます。

石碑は二枚仕立てで、縦八十センチ、横一三〇センチの伊達冠石（宮城県丸森町産）製。町民から寄金を募り、趣旨に賛同した百八十七人、十六団体からの芳志（三十八万二千円）をもとに建てられました。



除幕式の後、石碑に刻まれた町民憲章を見つめる小学生

女鹿会長は「多くの町民からご賛同をいただき、石碑が建てられたことに感謝しています。刻まれた町民憲章が折々に町民の目に触れることで葛巻がめざしている町づくりを知ってほしい。これを契機に、さらに町民が一丸となって町づくり運動を進めていきたい」と意欲を新たに